

星の草原

米司花音

王冠がある

その円環のなかに誰にも知られぬ王国がある

青々とした草原は波深くそよぐ

カルデラ湖に衛星が幾つも映って

それらもいつしか墜ち

鏡の星座は刻々と変わっていく

海の一粒が燃える八重の遠かた

私にしか見えない国がある

霧に包まれ草を食む馬がいる

柔らかな弾力を持つ草の食感を確かに受け取ることが出来る

彼らの耳が一斉に後ろを向き

汽笛が響いてくることに気が付く

馬は既に丘を駆け下りはじめ、すれ違う

彼らの息遣いを受ける

その美しさ

道の先に霧は濃くなって

たまらず振り返ったが

尻尾は大きく揺れて消えてしまった

Alpenglühén

霧を割って地平線から太陽の円盤が現れる

赫赫たる山頂に宙の風の清々しさ